

20121

カテーテル室安静室における新採用ナース教育の現状～到達目標と評価の明確化～

【背景】当院は、年間カテーテル検査 1000 例、虚血・不整脈カテーテル治療 1000 例以上のカテーテルを施行している。検査は日帰り、治療は1泊2日を基本としている。検査前後の看護と治療前準備を担う安静室とカテーテル室をワンセクションとし円滑で安全な看護を行っている。新採用ナース教育においては、明確な到達目標と到達度評価が必要と考え取り組んでいる。途中経過ではあるが、現状について報告する。【目的】新採用ナースに対する教育の現状整理を行い、到達目標と評価内容を設定する。【方法】1. カテーテル室安静室看護の目標と要点を再確認し、看護手順の見直しを行う。2. 新採用ナースの到達目標と評価内容を立案し、OJT を基本に展開を行う。【結果】1. カテーテル室安静室の看護ポイントを整理し、既存のカテーテル室看護手順と安静室看護手順に要点を取り込み、看護内容が統一できるように見直しを行った。2. 看護の難易度を踏まえ、4段階に分けた到達目標を立案した。目標には専門領域の看護技術が習得できるように工夫した。評価内容は到達目標と看護手順を基に要点を抽出し設定した。教育担当者が新採用ナースと共に評価内容に沿って評価した。【結論】到達目標と評価を明確にしたことで、看護のポイントを再確認し、共有することができた。今後は具体的で効果的な指導方法について、検討していきたい。